

チャペル週報

No.12

2023.7.3~7.7

こうして、主があなたたちの先祖に、彼らとその子孫に与え
ると誓われた土地、すなわち乳と蜜の流れる土地で、あなた
たちは長く生きることができる。

申命記 11章9節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

教員生活を振り返って

長島 礼

現在、私は教育学部の教員として、小学校の音楽科教育法をメインに音楽に関する科目を担当しています。このたびは、来年 20 周年を迎える私のこれまでの教員生活を、2 つの転換期とともに振り返ってみたいと思います。

まず 1 つめの転換期は、スイスで活躍した作曲家・音楽教育家である E.J.ダルクローズ (1865-1950) が創案した「リトミック」という音楽の教育方法論との出会いにありました。私は幼少期からピアノを習い始め、音楽大学を卒業したのち大学院にて教育学を学び、ご縁あって大学教員になりましたが、研究に関してはなかなか軸が定まらずテーマを見つけることに大変苦労しました。そのような時に、自分のピアノの演奏経験と音楽教育との懸け橋になってくれたのが「リトミック」でした。私にとって「リトミック」は、音楽を学ぶ楽しさを再確認させてくれたもの、子どもの音楽教育を考える際の拠り所にしたいと思えた教育方法論でした。現在でも私の研究の土台には「リトミック」の理論が息づいています。

次に 2 つ目の転換期は、双子の息子の母となったことです。当時の私は 30 代後半で、すでに大学教員として勤務していましたが、研究活動においては、実践経験が少なく机上の空論に終始しているのではないかとということを常に思い限界を感じていた時期でした。そして、そのような時に双子の息子を授かり 1 年間の育児休暇を頂くことになりました。1 年間の育児休暇は私を研究から遠ざけましたが、息子たちとの生活によって私はまちがいなく経験に基づいた深い学びへと導かれました。それまで知識として理解してきた理論や事例についても、それらが息子たちによって私の目の前で実証されていくさまは感動の連続でした。双子の息子の育児経験によって私の教育学への興味は一層深められ、一生をかけて教育の仕事を全うする決意を固めることとなりました。

振り返ってみれば、多くの方々との出会いに恵まれ、多くの先生方の励ましに支えられ、様々な経験を経て鍛えられた私がここにいます。ヨハネによる福音書 15 章 16 節には、神様の「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」という言葉があります。その言葉を信じて、これからも日々精進してまいりたいと思います。

(教育学部准教授)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

7/ 3 月

神 説教学演習 A 坂本 子龍 (神学部 4 年)
経 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)
人 上田 直宏 (日本キリスト教団 主恩教会牧師)
建 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)

4 火

神 高木 政臣 (大学院研究員)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 イエスのたとえ話から① 岩野 祐介 (神学部長)
法 献血実行委員会
経 経済と人間⑪ 梶井 厚志 (経済学部教授)
商 夏の献血週間アピール 献血実行委員会
国 児島 幸治 (国際学部教授)
理・工・生環 中井 珠恵 (愛染橋病院チャプレン)
総 鈴木 悠斗 (総合政策学部 4 年)
教 重富 くる実、山口 ひかり、岡本 ふみか、山野 真宙 (教育学部生)

5 水

神 水野 隆一 (神学部教授)
社 イエスのたとえ話から② 松隈 協 (高等部宗教主事)
法 うたかるた
商 渡辺 敏雄 (商学部教授)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
国 渥美 裕之 (国際学部教授)
理・工・生環 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)
教 大学院生としての歩みのなかで 森川 蓉子 (教育学研究科 M2 年)

6 木

神 黙想と祈り—テゼの歌を用いて 打樋 啓史 (宗教総主事)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 イエスのたとえ話から③ Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部准教授)
法 趙 永哲 (在日大韓基督教会 大阪北部教会主任牧師)
経 オルガンコンサート①～平和への祈り～ 坂倉 朗子 (関西学院オルガン講師)
商 木原 桂二 (宗教主事)
人 献血実行委員会
国 Chapel in English 中道 基夫 (院長、神学部教授)
総 湯浅 理空 (総合政策学部 4 年)
聖和 福島 旭 (中学部宗教主事)

7 金

神 丸尾 彩華 (神学研究科 M2 年) 岡元 麻奈 (神学研究科 M2 年)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済と人間⑫ (最終回) 古澄 英男 (経済学部教授)
理・工・生環 武久 盾 (日本キリスト教団 住道一粒教会牧師)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

7月7日（金）千里国際中等部・高等部のために 萩原 伸郎（千里国際中等部・高等部校長）
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。
Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター（shukyocenter@kwansei.ac.jp）へ
①メールアドレス ②お名前 ③所属 ④関学との関係（学生等）をメールでお知らせください。

●院長室から発信！ ビデオメッセージ「風に思う」 配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



（月2回程度更新されます）

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ (HP)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を右に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

7月6日（木）関西学院聖歌隊

7月7日（金）関西学院バロックアンサンブル

7月14日（金）関西学院交響楽団

時 間：12時45分～13時15分

場 所：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパス（1405教室）では、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

7月13日（木）17:50～18:10 打樋 啓史（宗教総主事）

●2023年度 第1回 教育研究部サロン「関西学院・原田の森時代の社会貢献と文化発信」

今回のサロンでは荻野昌弘教授から、神戸原田の森キャンパス時代の関西学院の学生が神戸でキリスト教伝道を通じて社会福祉活動を実践していた賀川豊彦と協力して、神戸の社会問題にどのような関わりを持っていたかを語っていただきます。参加者との懇談も交えて進めてまいりますので是非ご参加ください。

お 話：荻野昌弘（社会学部教授）

司 会：細見和志（総合政策学部教授）

日 時：7月14日（金）17:10～18:40

会 場：本部棟会議室6（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員・学生です。

※対面で開催しますが、Zoomでの参加も可能です。

参加ご希望の方は右のQRコードからお申込みください。



●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日（原則）の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

7月9日（日）10:00～11:00

● CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

● 使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

● 盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

● 「チャペル週報」のバックナンバー（2005年以降）は下記で閲覧できます。

URL : <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

